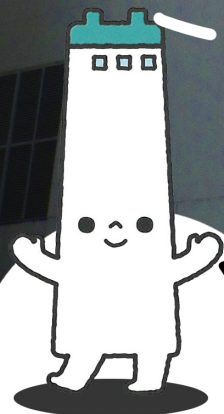




宮古地区 広域行政 組合広報

令和5年7月15日発行 第18号



宮古清掃
センター
イメージキャラ
クターの
ミヤコンです。
よろしくね！

Vol. **18**

消防職員を募集します

宮古地区広域行政組合消防本部では、令和6年4月1日に採用する消防職員を募集します。今年度から、教養試験は、公務員試験に向けた準備を必要とせず、民間企業志望者、新規学卒者でも受験しやすい試験内容に変更します。



● 募集職種、人数及び受験資格等

募集職種	初級消防／採用予定人数 2 人程度
受験資格	平成10年4月2日以降に生まれた人で、大学、短大、高校を卒業又は卒業見込みの人ただし、次のいずれかに該当する人は受験できません。 ○ 日本国籍を有しない人 ○ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人 ○ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し又はこれに加入した人
試験日・場所	〔第1次試験〕 9月17日（日）／宮古地区広域行政組合消防本部（宮古消防署） （午前9時30分受付、午前10時試験開始予定） 〔最終試験〕 10月下旬／宮古市民総合体育館
受験申込書の配布	7月13日（木）から次の場所で配布します。 消防本部、宮古消防署、山田消防署、岩泉消防署、 田老分署、田野畑分署、新里分署、川井分署 また、消防本部ホームページ（URL http://www.fire.miyako.iwate.jp/ ） からダウンロードできます。
受付期間	7月13日（木）から8月4日（金） 午前8時30分から午後5時15分 （土・日・祝日を除く。持参、郵送ともに必着）
申込み問い合わせ先	宮古地区広域行政組合消防本部 総務課 職員係 〒027-0072 宮古市五月町2番1号 電話 0193-71-1193



宮古地区広域行政組合
消防本部HP

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために・・・

- ① 試験会場では、試験開始前に検温、手指の消毒を実施します。
 - ② 新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない方は、ほかの受験者への感染のおそれがあるため、当日の受験を控えていただくようお願いします。
- なお、これを理由とした欠席者向けの再試験は予定しておりません。

もくじ

- 消防職員募集のおしらせ・・・2
- 令和5年度当初予算の概要・・・3
- 事務局施設課からのおしらせ・・・4～6
- 消防本部からのおしらせ・・・7
- 緊急消防援助隊合同訓練について・・・8

表紙の写真

表紙の写真は宮古清掃センター（ごみ焼却施設）です。
煙突の高さは59メートルあります。
令和4年度には家庭からのごみを
15,371トン焼却しました。

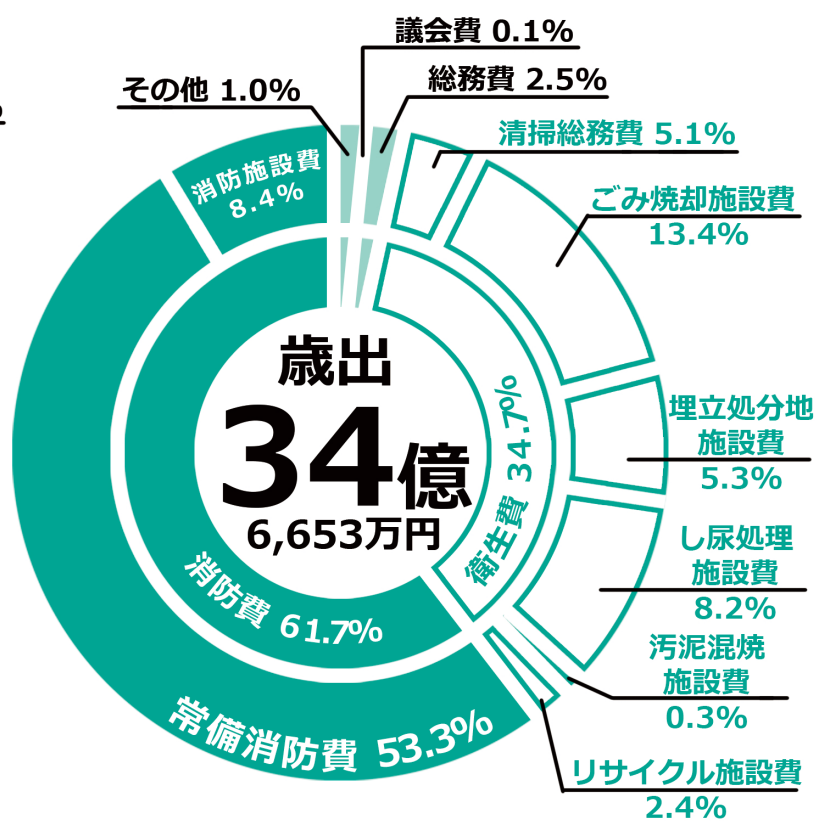
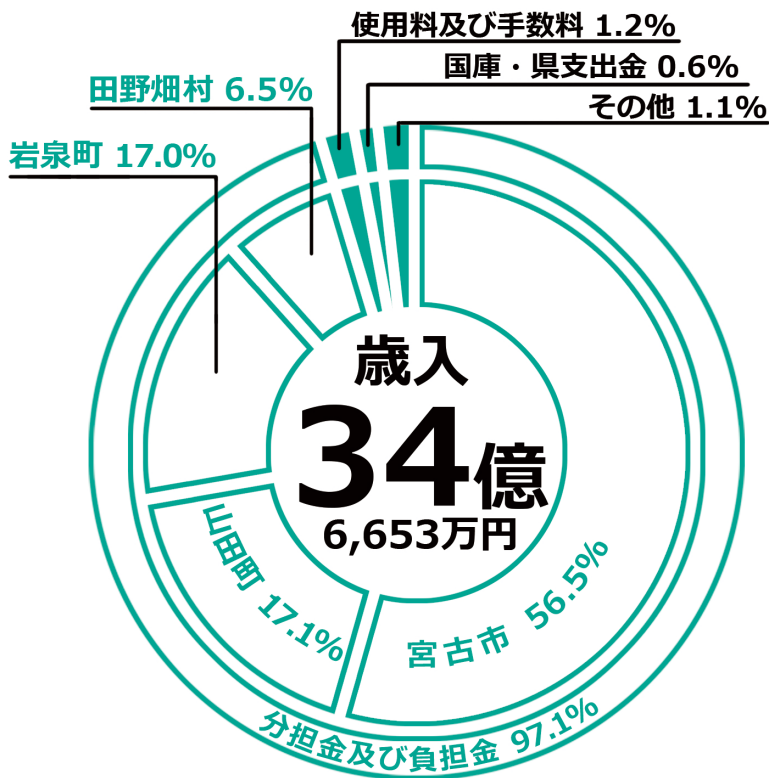


令和5年度宮古地区広域行政組合予算の概要をお知らせします

今年度の組合予算は34億6,652万8千円で前年度比2億4,106万円（7.5%）の増額です。増額の主な理由は、燃料等の価格高騰に伴い一般廃棄物処理施設で使用する電気や軽油等の経費が増加すること、屈折梯子付消防自動車など消防署に配備している車両を更新することによるものです。

歳入

区分	金額	構成比	説明
分担金及び負担金	33億6,823万円	97.1%	構成市町村からの負担金
宮古市	19億5,933万円	56.5%	
山田町	5億9,319万円	17.1%	
岩泉町	5億8,968万円	17.0%	
田野畑村	2億2,603万円	6.5%	
使用料及び手数料	4,185万円	1.2%	ごみ処理手数料、消防手数料など
国庫・県支出金	1,988万円	0.6%	新規最終処分場建設に係る事業費補助金など
その他	3,657万円	1.1%	資源物売却代金など
歳入合計	34億6,653万円		



歳出

区分	金額	構成比	説明
議会費	241万円	0.1%	議会運営に要する経費
総務費	8,760万円	2.5%	事務局の管理運営に要する経費
衛生費	12億4,660万円	34.7%	ごみ収集運搬委託に要する経費 廃棄物処理施設管理運営に要する経費
消防費	21億3,801万円	61.7%	消防・救助業務に要する経費 施設・車両等の整備に要する経費
その他	3,385万円	1.0%	借入金返済など
歳出合計	34億6,653万円		

事業系一般廃棄物を搬入されている事業者様へ

令和5年10月1日よりインボイス制度（適格請求書等保存方式）が開始されます。制度の開始に伴い、搬入時ごとに手数料をお支払いいただいている事業者様につきましては、月締めでのお支払いに変更いただきますようお願いいたします。月締めへの変更につきましては、事務局施設課へお問い合わせください。

※問い合わせ先：事務局施設課 ☎0193-64-7111

ポスターコンクールの開催のお知らせ



宮古地区広域行政組合HP

●令和5年度ポスターコンクール応募要領

応募対象：宮古広域管内（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村）の小学校3年生から6年生

応募締切：令和5年10月31日（火）

詳細：事務局ホームページ（上記QRコード）お知らせ欄をご覧ください。

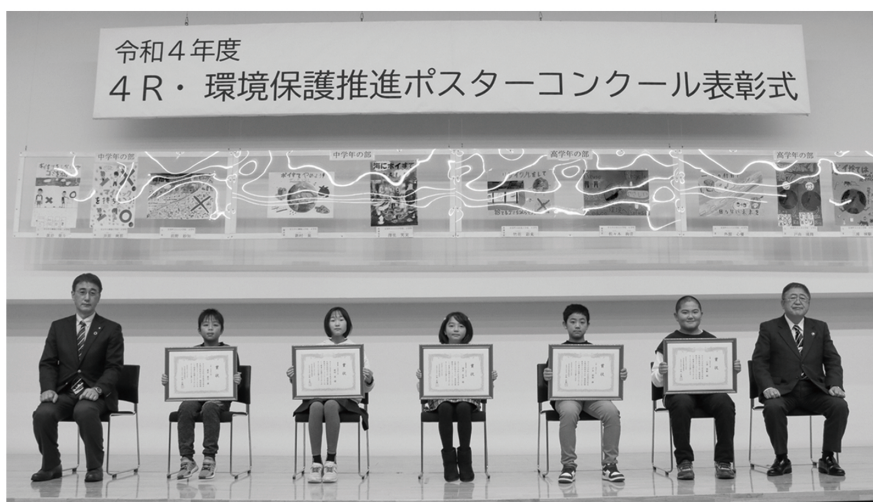
小学校3年生から6年生を対象に4R・環境保護推進ポスターコンクールを開催しています。詳細については、事務局ホームページに掲載しているほか、各小学校を通じてご案内しています。皆さんの応募をお待ちしております。

※4Rとは…リフューズ（買わない・断る）、リデュース（減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再利用する）の4つの頭文字をとったごみを減らす取り組み。

●令和4年度ポスターコンクール審査結果

令和4年度ポスターコンクールでは114名の応募があり、その中から下記の方々が入賞されました。入賞者には、宮古地区広域行政組合管理者の山本正徳宮古市長から表彰状と記念品が贈呈されました。入賞作品及び応募作品は事務局ホームページ（下記QRコード）でご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

令和4年度
ポスターコンクール
表彰式



環境保護推進
ポスターコンクール



【高学年の部】

最優秀賞 竹花 彩来さん（岩泉小学校6年）
優秀賞 佐々木絢音さん（宮古小学校6年）
入賞 外館 心優さん（小川小学校6年）
戸由 瑛翔さん（小本小学校5年）
三浦 徠駆さん（小本小学校5年）



【中学年の部】

最優秀賞 澤里 笑実さん（小川小学校4年）
優秀賞 新村 泉さん（磯鶏小学校4年）
入賞 眞岩葵斗さん（磯鶏小学校4年）
井原爽那さん（磯鶏小学校4年）
前野紗知さん（小川小学校4年）

※学年は令和4年度のものです。

施設見学・出前講座の参加団体を募集します

事務局施設課では、施設に持ち込まれた廃棄物がどのように処理されているのか理解を深めていただくため、施設見学・出前講座を実施しています。施設見学・出前講座は学校だけではなく、一般の団体（自治会等）の参加もできますので是非ご応募ください。

施設見学

対象施設：ごみ焼却施設、埋立処分施設、リサイクルセンター、し尿処理施設

※1か所からの見学も可能です。

実施内容：ごみ処理の現状やSDGsとの関係などについて説明します。
また、各施設の現場を見てもらいながら、ごみ処理の仕組みなどについても併せて説明します。



ミヤコン

宮古清掃センター（ごみ焼却施設）
イメージキャラクター

●出前講座

実施内容：職員が直接訪問し、施設見学と同様の内容で説明します。（現場での見学は除く）

●令和4年度実績

施設見学			出前講座		
学校	14団体	456人	学校	0団体	0人
一般	0団体	0人	一般	2団体	32人
合計	14団体	456人	合計	2団体	32人



フリーマーケット・再生品展示会を開催します

「ごみの減量化・4Rの推進」を目的としてフリーマーケット、再生品展示会を開催しています。

●フリーマーケットの開催

家庭で使用しなくなった物品の販売を希望する方にみやこ広域リサイクルセンターを開放し、フリーマーケットを開催しています。今年度の開催日は、10月までの毎月最終日曜日です。出店には電話での予約が必要となります。開催月の1日（土日祝日の場合は翌開庁日）から予約を開始します。 ※生き物、植物、ハンドメイド製品、古銭などは出品することができません。

●再生品展示会の開催

組合に搬入された物品で再利用可能なものを無償でお譲りします。今年度は再生品ストックヤード（崎山清掃工場跡地）で10月に開催予定です。展示会場では1人1点までの申込（小学生以上）ができます。 ※希望者が2人以上の再生品は後日抽選のうえ決定します。

●申込み・問い合わせ先

事務局施設課 ☎0193-64-7111



ごみの受入れと正しい分別のお願い



集積場にごみを出せない場合や、一度に多量のごみを出したい場合は、直接ごみ処理施設に持ち込んでください。

なお、お盆期間中はごみの搬入車両が多くなります。走行には注意してください。

●ごみの受入時間

※お盆期間中のごみの受入日

午前 8:30～12:00

午後 1:00～4:30

※日曜日、1月1日～3日は休業

8月

日付	10	11	12	13	14	15	16	17
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木
	○	○	○	休	○	○	○	○

※受入時間は左記のとおりです。

●ごみの処理手数料

	家庭からのごみ	事業所からの 一般廃棄物
燃やせるごみ(粗大を含む)	～50kgまで 無料	10kg 毎50円
燃やせないごみ(粗大を含む)	50kgを超える 10kg毎50円	
資源物	無料	10kg 毎30円 <small>※従業員の個人消費に伴って排出された缶、びん、ペットボトルに限る</small>
小型家電	無料	
小動物の死体	1体につき 20kgまで 1,000円 20kgを超える 1,500円	
フロンガスを回収するもの	1個につき 500円	

●ごみの正しい分別にご協力ください

資源物として回収されたごみは、人の手で種類が異なるものや汚れたものなどがないか確認をしています。資源物にはさみなどの刃物が混入していると作業員がけがをする恐れがあります。

また、燃やせるごみに大きな金属などの燃やせないごみが混入すると、ごみ焼却施設の機械に挟まり故障の原因となります。

資源物に混入していた はさみや金属製品



燃やせないごみ

資源物に混入していた 在宅医療廃棄物



燃やせるごみ

燃やせるごみに混入していた 鍋や水筒



燃やせないごみ

カセットボンベを使用する火器の使い方に気をつけましょう

夏のアウトドアシーズンに便利なカセットコンロやガストーチバーナの火災や爆発事故が全国的に増えています。その原因のほとんどは誤った使用方法によるものです。楽しい時間を安全に過ごすために、次のことに注意して使用しましょう。



⚠️ カセットコンロ、適切に使いましょう！

- 家具やカーテンのすぐそばで使用しない
 - 裾や袖が広がった衣服や紐付きの衣服を着用しての使用は避ける
- ➔ 炎に可燃物が接触し引火の恐れがあります！



- 大きな鉄板などコンロ全体を覆うような大きな調理器具等を使用しない

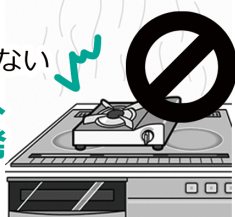


- カセットコンロを2台以上並べて使用しない
- 炭の火起こしなど調理以外の用途で使用しない

➔ いずれも熱がこもりやすくなり、カセットボンベが過熱し爆発の恐れがあります。

- IHクッキングヒーターやガスコンロの上で使用しない

➔ 下のヒーターやコンロのスイッチが入るとボンベが加熱され高温になり爆発の恐れがあります。



? ガストーチバーナとは

主にカセットボンベに接続して使用する簡易的なガスバーナのことです。ガスバーナの発生する炎の温度は1000℃以上にも達するため、異常燃焼や漏れたガスに引火すると消火は困難で、爆発する危険性もあります。

- 傾けて（逆さ）使用しない

➔ 傾け（逆さ）使用により液化ガスが液体のまま噴出し異常燃焼の恐れがあります。



- 使用前には点検をする

➔ 取付不十分により緩みやガタツキ部分からガスが漏れ引火の恐れがあります。



- 極端な廉価品を使用しない

➔ 部品の省略や加工精度の低さから異常燃焼やガス漏れのリスクが高まります。

⚠️ カセットボンベの保管、廃棄にも注意 ⚠️

- カセットボンベを暖房器具、ガスコンロのそばや、夏場の車内など高温になる環境下に放置すると、過熱により爆発の恐れがあります。
- 腐食や変形しているボンベはガス漏れの恐れがあります。「ボンベを持つ手に冷気が当たる」、「異臭がする」、「栓が閉まっているのに音がある」といった兆候は危険なガス漏れのサインです。
- 必ず中のガスを使い切ってから捨てるようにしましょう。ガスが残ったボンベはごみ収集車や焼却炉の中で火災や爆発を起こし、設備の破損だけでなく、作業者の安全にも関わります。
- ガス抜きは風通しがよく火の気のない屋外で行い、必ず中身を空にしてから穴を開けましょう。ボンベにガスが残った状態で穴をあけると、穴から噴出するガスを止めることができず、引火すると消火は困難で大変危険です。



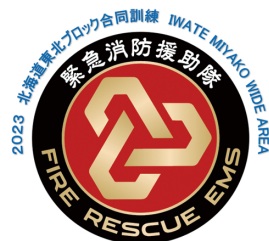
緊急消防援助隊

北海道東北ブロック合同訓練

開催日時

令和5年
11月18日(土)~19日(日)

緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が
開催されます。



One heart
~あの教訓を、
今、そして未来に、繋げたい~



宮古地区初開催!

● 緊急消防援助隊とは

国内で、大規模災害や特殊災害が発生したとき、被災地の消防機関のみでは対処できないことがあります。

そのようなときに、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防部隊や航空部隊が陸から空から応援のために出動します。この応援部隊が「緊急消防援助隊」です。

宮古地区は、過去に2度緊急消防援助隊の応援を受けています。1度目は、平成23年に発生した東日本大震災、2度目は、平成28年に発生した台風10号災害です。

また、平成30年に発生した北海道胆振東部地震の際は、宮古地区消防本部から緊急消防援助隊岩手県隊として北海道へ出動しています。

● 訓練実施日・場所

緊急消防援助隊の地域ブロック合同訓練は、全国6ブロックで行われています。

北海道東北ブロック合同訓練は、8道県（北海道、東北6県及び新潟県）の輪番で行われ、今年度は岩手県の宮古地区（宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）及び久慈市での開催が決定しています。

● 訓練観覧について

今後、宮古消防本部ホームページなどでお知らせします。なお、観覧可能な訓練は一部の訓練に限られますのでご了承ください。

※訓練当日は多数の消防車両等が訓練場所付近を走行します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

● 訓練実施日・場所

- 令和5年11月18日(土)
- 宮古市 田老地区
(田老球場、田老駅及び三王団地周辺)
 - 宮古市 新里地区(湯ったり館周辺)
 - 山田町 飯岡地区(山田消防署)
 - 山田町 船越地区(船越公園周辺)
 - 岩泉町 小本地区(小本川水門周辺)

※宮古市川井地区及び田野畑村で緊急消防援助隊が集結する参集訓練を行い、上記の各訓練場所に向かいます。

- 令和5年11月19日(日)
- 宮古市 磯鶏地区(藤原埠頭)
 - 久慈市 夏井地区(久慈国家石油備蓄基地)



【問合せ先】

緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練推進協議会
岩手県実行委員会事務局（宮古地区広域行政組合消防本部消防課内）

電話：0193-77-5191